

風土病

見ユル者アリ、皆翌日ニ至レバ霍然トシテ醒ム、或ハ重キ者モ二三日ヲ過グレバ必ず解スモノナリ、

〔病名彙解〕酒癖シキ或ハ酒積トモ云リ多ク酒ヲ飲腹中ニ結聚シ塊トナリ、氣ニ隨テ上下スルヲ酒癖ト云リ、

〔病名彙解〕酒客病カクビヤ此常ニ酒ヲ好テ飲人酒ニ傷ラレ、惡心嘔逆シテ宿酒ヲ吐出シ、昏冒眩暈シ、頭痛シテ破ルガ如キ等ノ症也、

〔御用留〕北蝦夷地風土病之儀御評議

亥〇文久 七月廿五日御小印

印 大和守

調木川直之丞印

平山謙次郎

印 鈴木當太郎

同 栗本瀬兵衛

同 三田喜六

山村惣三郎

松岡徳次郎印

太橋宥之助同

蝦夷地掛

御藏方掛

印 御勘定方

同 御目付方

北蝦夷地之儀、元來異候之地に而脹病相煩候ものも有之候處、場所に寄、醫師詰場所まで三四拾